

「社会的責任に関する円卓会議」の
今後の進め方・あり方についての提案

NPO/NGOグループ
(社会的責任向上のためのNPO/NGOネットワーク)

本円卓会議の今後の進め方・あり方に関する主な論点

- (1) ワーキング・グループ (WG) の位置付けについて
- (2) 各種会議体の整理された後の姿について
- (3) 円卓会議そのものの進め方について

(1) ワーキング・グループ (WG) の位置付けについて

- ・協働戦略案 (行動計画案) および協働プロジェクト案を提示した後の、WGの役割や形については、主題ごとに提案を取りまとめるという当初の目標を終えることから、いったん解散する。
- ・各WGから示された提案を統合する形で策定される行動計画や協働プロジェクトの実施や支援、フォローアップなどを担う機能 (「〇〇プロジェクト運営チーム」、「地域円卓会議支援チーム」など) については、改めて設置することを提案したい。

(2) 各種会議体の整理された後の姿について

- ・「総会・総合戦略部会・運営委員会」という現行体制には、総合戦略部会の下に設置されたWGに加えて、運営委員会の「企画チーム」も設けられている。
- ・さらに、本来なら総合戦略部会で協議すべき、本円卓会議の進め方やあり方についても、運営委員会にて発議されてしまい、同委員会内で協議してしまうことも頻発している。
- ・今年度は取り扱わなかった主題や、各WGが担当した主題の細分化も、対応が求められる。
- ・そこで来年度以降は、いったん解散する現在のWGに替えて、総合戦略部会と並ぶ形で、テーマ別の部会 (例として「子ども・子育て部会」や「温暖化防止・省エネ推進部会」など) を設け、各部会内で戦略案やプロジェクト案を策定し、採択後はその実施も担当することを提案したい。ただし、現在のWGを発展的に改組する形で、部会とすることも選択肢である (例として「持続可能な地域づくり部会」など)。
- ・また、今年度に各WGから提案される行動計画や協働プロジェクトの実施や支援、フォローアップなどを担う機能 (「〇〇プロジェクト運営チーム」、「地域円卓会議支援チーム」など) は、部会とは別に設置することを提案したい。合わせて、総合戦略部会は、円卓会議全体のあり方・進め方の協議の場に絞ることを提案したい。
- ・運営委員会の役割と機能についても、見直し・改善を要する点は行いたい。

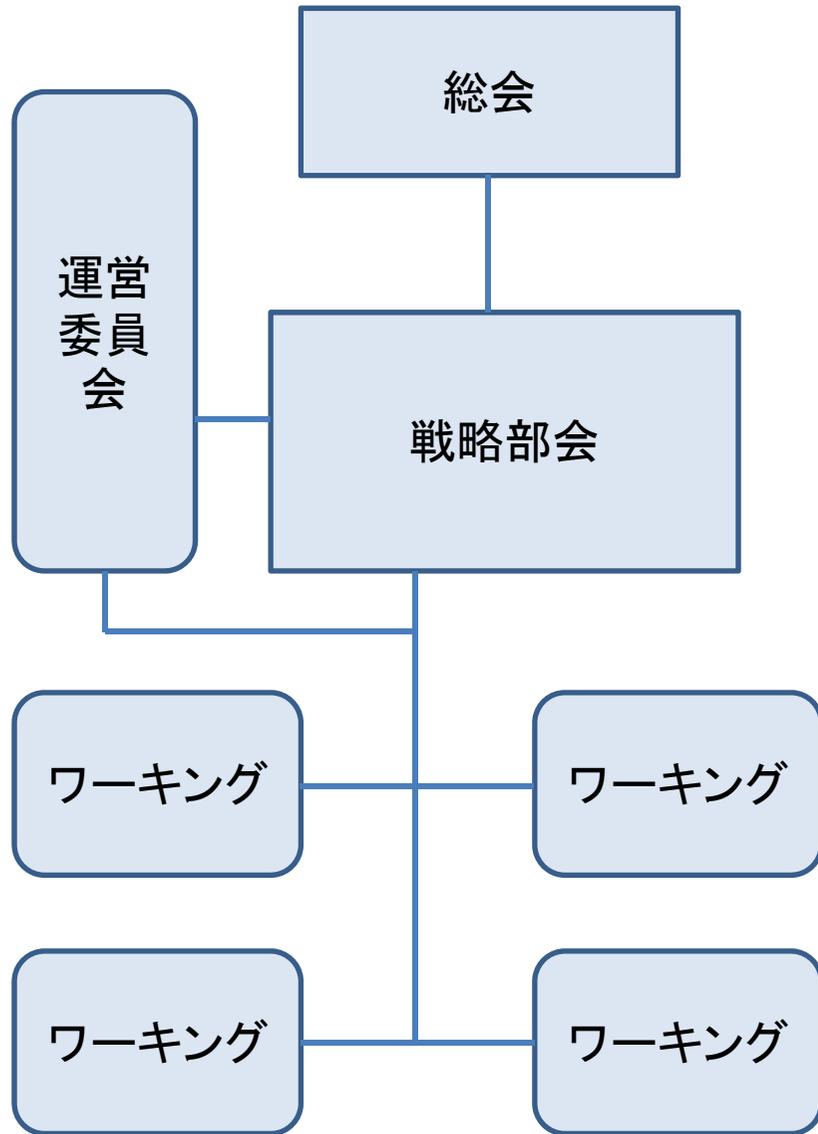
(3) 円卓会議そのものの進め方について

- ・来年度からは、協働戦略、行動計画、および協働プロジェクトを、実施・運営しなければならない。
- ・また、戦略・計画・プロジェクトの実効性を高めるには、政府 (国・自治体) をはじめとする各組織の事業計画・予算策定や制度づくりなどのスケジュールへの配慮と、各主体の責任ある主体的な参画も求められる。
- ・このため来年度以降は、上述の各部会において、実施や支援・フォローアップを通年で行うとともに、8月ごろをめぐりに、次年度以降の重点的な課題についての提案をまとめることを提案したい。
- ・また、本円卓会議全体の規模感については、着実な実践と定着を促すため、当面は現行程度の水準とすることを提案したい。

以上

提案のイメージ図

○現在の体制



○新体制

